

支援集落応援ボランティア ワークキャンプin美山



地域の想いがつなげる 笑顔の力 応援の和

美山ワークキャンプとは？

生活課題解決のために当事者以外の他者の応援が必要な現場に、主体的な意思を持って集まった参加者たちが共に出向き、ワークという手法で関わり、一定期間の合宿形式のキャンプをしながら、その現場でのニーズに直接的に関わっていくボランティア実践活動のこと。

京都ボランティア学習実践研究会とは？

京都府内にてボランティア学習や福祉教育に携わってきた社会福祉協議会職員や、大学教員などが集まり、平成19（2007）年9月に設立された任意の団体です。美山でのワークキャンプの実践とともに、研究成果や課題は日本福祉教育・ボランティア学習学会等で報告・発表することで社会に対する問題提起をしています。

活動内容

- ・夏・・草刈り、側溝掃除、用水路泥上げ 等
- ・冬・・雪かき

◎この他にも地域に暮らす高齢者宅への訪問ワーク等も行います。

活動開始 : 平成20年（2008）年9月～

活動場所 : 南丹市美山町 知井地区支援集落 にて

活動状況 : 京都府ボランティア学習実践研究会では、地域のニーズに基づいた**ボランティア学習の実践の場**を模索していました。その頃、今後の地域課題への対応を検討していた、知井振興会の想いを南丹市社会福祉協議会が結び付け、ワークキャンプ活動が始まりました。現在では毎年夏と冬に**1週間程地域に泊まり込み、地域支援活動を展開**されています。毎回、関西の大学生を中心に、遠くは韓国の大学生も参加する**国境を超えた活動**となっています。



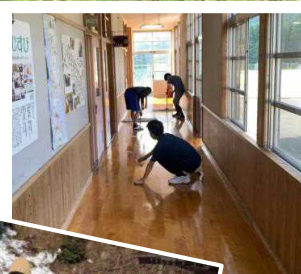
美山ワークキャンプとは…

= 宿泊を伴った地域生活問題解決応援ボランティア活動 =

《ワーク(働くこと)》

高齢化の進行に伴って、集落機能を維持する事が困難になりつつある支援集落で生じるさまざまな生活問題の解決に、若者ボランティアたちがワークを通じて関わる活動です。旧知井小学校を拠点として、夏と冬に1週間（+秋の3日間）の宿泊を伴った共同生活をしながら活動しています。

これまでの活動集落は、佐々里、知見、河内谷、北、南の各地域で以下の応援活動に取り組んできました。
*草刈り *竹伐り *雪かき *獣除けネット張り *茅のつる草刈り *用水路泥上げ *河原清掃 *稲刈り応援 *植樹 *植樹後の手入れ等



アレック ディクソン賞受賞

世界のボランティアの父の名を冠した「アレック ディクソン賞」を京都ボランティア学習実践研究会が受賞しました。

